

## 12月 KAVC CINEMA 特別イベント

## 映画「春画と日本人」 関連シンポジウム、入門講座を同時開催

## 今、活発に議論される「表現の自由」——「春画」とは何かを考える

神戸アートビレッジセンター [KAVC] (神戸市兵庫区、指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団、館長：大谷燮) は、2019年12月7日(土)～12月20日(金)の12日間、KAVCシアターにて、映画『春画と日本人』を上映いたします。

当センターでは今回、神戸での初上映を記念し12月7日(土)に、入門講座 および 関連シンポジウムを開催します。

入門講座は、はじまりのみかた vol.4 「はじめての春画～春画と女性たち～」と題し、春画の基礎知識やその面白さ、そして春画が生活の中で親しまれていた当時から、現代に至るまでの女性と春画の関係について図版を見ながら紐解きます。講師には、日本で初めて春画をテーマとした博士論文を執筆し、作中にも登場する石上阿希(いしがみ あき)氏を迎えます。

関連シンポジウムは、「春画のタブーと受容の変遷」と題して開催します。登壇者は、石上氏に加えて、甲南大学法科大学院教授/弁護士で、春画展開催にあたって論考の執筆もされた園田寿(そのだ ひさし)氏を迎えます。映画の内容を出発点に、近頃活発に議論される「表現の自由」や、日本社会におけるアートやその表現についても議論が及ぶことでしょう。

映画「春画と日本人」は、2015年に開催された「春画展」の開催とその内幕を描いたドキュメンタリー作品です。21万人を動員したこの「春画展」は、2013年にイギリス・大英博物館で成功を収めた春画展「日本美術の性とたのしみ」の日本巡回展として当初企画されていました。しかし、国内の公私立博物館20館あまりが開催の打診を断ったとされ、開催の実現まで困難を極めました。春画の公開を問題視し、世間から隠そうとする日本社会の「忖度」——春画展を日本で開催することを巡って、日本社会特有の「ゆがみ」や「おかしみ」が浮かび上がる様を描いた、大変意欲的な映画作品です。

あなたは「春画」をどう考え、どう捉えるでしょうか。

映画「春画と日本人」の上映、入門講座と関連シンポジウムの2つの関連企画を通じて問いかけます。

はじまりのみかた vol.4

## 「はじめての春画 - 春画と女性たち -」

日時：2019年12月7日(土) 11:00-12:30 (受付10:15～)

会場：神戸アートビレッジセンター 4F・リハーサル室1

講師：石上阿希(国際日本文化研究センター特任助教)

対象：18歳以上の女性

定員：30名(要予約 ※定員に達し次第受付終了)

参加費：一般1,000円、かぶっクラブ会員700円

※年齢確認をさせて頂く場合がございます。

※講座に参加された方は、映画「春画と日本人」を1,400円でご鑑賞いただけます。

関連シンポジウム

## 「春画のタブーと受容の変遷」

日時：2019年12月7日(土) 13:10～ 映画上映終了後

会場：神戸アートビレッジセンター KAVC シアター

ゲスト：石上阿希(国際日本文化研究センター特任助教)

園田寿(甲南大学法科大学院教授 弁護士)

対象：「春画と日本人」同日13:10～上映回をご覧になられた方

(※但し、18歳未満入場禁止)



会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター(指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団) 担当 岡本・岡村・野澤  
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。